

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	行政評価実施事業	担当課	企画財政課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	人が集う交流のあるまちづくり	
	政策	市民と行政の協働によるまちづくり	
	施策	開かれた行政の推進	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市事務事業評価実施要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	現状を評価・点検し、常に改善に取り組むことにより、市民満足度の向上を目指すなど、より質の高い行政サービスの提供を目指すため。 また、評価結果や改善案を公開することにより、事業の透明性を確保するなど、市民とのパートナーシップの確立を目指すため。（要綱第2条）
事業の手段	(1)担当課による評価シートの作成 (2)評価検討会議（副市長・教育長・政策秘書課長・総務課長・企画財政課長）の開催による内容の確認とホームページによる公開 (3)有識者ほかによる5名の外部評価の実施 （H25～H26 評価委員 大学准教授・民間会社代表取締役・自由業・市民団体代表）
事業の対象	市で実施している事務事業のうち指定された事業

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	174	177	147
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	174	177	147
B	担当職員数(職員E) (人)	0.31	0.31	0.31
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,114	2,073	2,012
D	総事業費(A+C) (千円)	2,288	2,250	2,159
主な事業費用の説明	外部評価委員会開催費用			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 評価検討会議対象事業数	(1事業あたり約10分)	102	92	90
	2 外部評価対象事業数	(1事業あたり約30分)	31	25	20
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	年間100事業前後を評価検討会議5名が2日間の日程により検討を行っている。			
	2	年間30～20事業程度を外部評価委員5名が2日間の日程により評価を行っている。対象事業はやや減少しているが、議論の内容が深まるよう1事業あたりの時間を増やした結果となっているため妥当と考えられる。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	評価検討会議結果	継続(一部改善)以外と評価された事業数(割合)	73 (58.4%)	44 (46.3%)	28 (31.1%)
	2	外部評価結果	継続(一部改善)以外と評価された事業数(割合)	15 (48.4%)	13 (52.0%)	10 (50.0%)
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	改善等と評価された事業の割合は低下しているが、各事業において課題の洗い出しや今後の事業展開など、事務事業に関する情報の共有化や透明化を行っている。				
	2	毎年度概ね半数の事業について、新たな視点の提案等がなされており、事業の執行に際しては外部の意見や考え方が参考とされている。				
	3	※25年度において評価項目に変更があった(継続→一部改善・改善→全部改善)。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) ○本シートについて、導入以来大きな変更は加えられていなかったため、重複する欄の削除や位置の変更等一部改善を実施した。 ○ランダムに選択していた対象事業について、第6次長期総合計画後期基本計画に掲載されている「主な実施事業」をベースに改めた。 ○第6次長期総合計画後期基本計画(平成26~30年度)にあわせ、進捗管理の手法として施策評価を実施するため、平成26年度において試行を行う。 ○また、平成27年度以降は後期基本計画に掲載されている全48施策を対象とした施策評価を実施するほか、予算編成への反映など、「長期総合計画・行政評価(施策及び事務事業)・予算」の連携を強化する。
過去の改善経過	○平成15年度事務事業評価導入 ○平成21年度外部評価導入
課長所見	外部評価の導入により市民目線による事務事業の改善が図られているところであるが、今後、内部評価の充実(平易な事業説明・適切な評価・改善に向けた積極的な取り組みなど)に向けて、定期的な研修を通じた職員意識の向上が必要である。